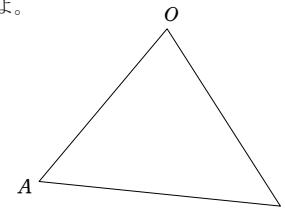


1. $\vec{a}=(1, 2, 3), \vec{b}=(2, -1, 1)$ とする。ベクトル $\vec{a}+t\vec{b}$ の大きさの最小値とそのときの t の値を求めよ。

2. $|\vec{a}|=1, |\vec{b}|=\sqrt{2}, |\vec{a}-\vec{b}|=1$ のとき、 \vec{a} と \vec{b} のなす角 θ を求めよ。

3. $\triangle OAB$ に対して、 $\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$ とする。 $2s+4t\leq 3, s\geq 0, t\geq 0$ が成り立つとき、点 P の存在範囲を図示せよ。



4. ベクトル $\vec{a}=(1, 2, 3), \vec{b}=(1, -2, 1)$ の両方に垂直で、大きさが 3 のベクトルを求めよ。

5. $\triangle ABC$ の辺 AB を $3:1$ に内分する点を D 、辺 AC を $2:3$ に内分する点を E とし、線分 BE と線分 CD の交点を P とする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}, \overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とするとき、以下の問いに答えよ。
(1) \overrightarrow{AP} を \vec{b}, \vec{c} を用いて表せ。

(2) AP と BC の交点を Q とする。このとき、 $BQ : QC$ を簡単な整数比で表せ。

6. 平行四辺形 $OACB$ において、 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}, \overrightarrow{OB}=\vec{b}$ とする。点 O から対角線 AB に垂線を下ろし、その足を H とする。 $OA=3, OB=2, \angle AOB=60^\circ$ であるとき、 \overrightarrow{OH} を \vec{a}, \vec{b} を用いて表せ。

7. 四面体 $OABC$ において、 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}, \overrightarrow{OB}=\vec{b}, \overrightarrow{OC}=\vec{c}$ とする。辺 OA を $1:2$ に内分する点を D 、辺 OB の中点を E 、辺 OC を $2:3$ に内分する点を F とする。このとき、以下の問いに答えよ。

(1) $\triangle DBC$ の重心を G とするとき、 \overrightarrow{OG} を $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を用いて表せ。

(2) 直線 OG と $\triangle DEF$ の交点を P とする。 \overrightarrow{OP} を $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を用いて表せ。

(3) $\triangle PAB : \triangle PBQ : \triangle PQC : \triangle PCA$ を簡単な整数比で表せ。

